

## 平成 25 年度議会報告会（商工会総代・振興委員研修会へ参加）記録書

開催日時：平成 25 年 7 月 17 日（金）15:30～17:10

場 所：岩倉市商工会館 3 階

来場者数：30 名

配布資料：.第 4 次総合計画より抜粋した資料（第 5 章第 2 節、第 3 節）

出席議員：全員（14 名）

総合司会：松田事務局長（商工会）

1. 商工会長あいさつ（山田幹夫会長）
2. 議長あいさつ・主旨説明（伊藤議長）
3. 意見交換会協議事項（進行：宮川議員）

### 3-1. 各テーマに関する会派別回答報告

#### ① 工場用地の確保

創政会：岩倉市内における都市計画上の工業地域は 2 地域（石塚硝子を含む大地町の一部、八劔町のピアゴと 155 号線の南）、準工業地域は 1 地域（五条川小学校の北及び給食センターを含む八劔町の一部）にあるが、ご指摘のとおり住宅との混合、敷地狭小により工場進出や工場拡張は難しい状況にある。岩倉市の統計を見ても、全業種の事業所数はピークであった平成 8 年の 2,060 事業所から、平成 21 年では 1,819 事業所と減少している。一方、従業者数では平成 8 年の 15,835 人から平成 21 年では 17,125 人と増加している。このことから雇用を確保し、まちを活性化するために事業所や工場等の誘致は大変重要なことであると考え。特に女性がどのような働き方をするのが、まちの魅力の一つと考える。

創政会としては、市内の事業所や工場等の誘致については市内の南西部（川井町、野寄町）の農業振興地域（いわゆる調整区域の中の色地）の土地利用を推進したい。先端技術産業や流通業務関連の事業所は進出が可能とされており、もうすでに北島町の一部において、企業が稼働している。また、市の都市計画マスタープランにおいても、南部地域の川井町、野寄町、北島町の一部は「工業系市街地拡大検討地区」としてその整備が方針化されている。こうした企業誘致を促進するために、地元への呼びかけ、市の企業誘致優遇策具体化（現在、市役所内にプロジェクトチームを作り、税制上の優遇策を始め研究している。）を進めていく考えである。

共産党：八劔町、ホームエキスポ付近が工場地域になると思う。以前、汚臭問題があった。卵の殻を乾かす飼料、肥料にする工程を住民が見学をして、化学的な薬品の汚臭でないことを確認した。循環型で利用されるなら、匂いは少しは我慢しなくてはいけないといったことや、農地が周りに有り、側溝

工事も共同で行うことなどを話し合った。住民と工場が協働して考えていくことを経験した。住民側も苦情だけを言うのではなく、状況、原因などを理解して、共存できるよう話し合いをしていくことが重要であると考えられる。工場があるということは、市にとって雇用の面ではプラスである。丁寧に解決していくことが大事である。

市民ク：時代の変化によって苦情が出てきたものと思う。あとから来た人でも、物を言えるような状況の社会になってきた。環境権が出てきた以上は対応が必要である。社会的問題になるならば、行政がそこについては取り組みをしていく、行政サービスの仕事の一つになる。今の岩倉市にはそういったことを扱う部署がない。市が解決できるよう政策的な、専門的な人を配置して、市外へ行く前に、市内で代替地など提供できるといったことができるかどうか、市民の理解を得て取り組めるような組織づくりが必要と思う。岩倉は、住宅都市として進んできている、バランスのあるまちづくりが必要であるし、基本的には、住むところ働くところが一緒がいいが、勤務が市外になっても、従業員も経営者も岩倉に居れば、そういう形もやもう得ないと思う。土地の対価の部分で、土地は高くなってきている。そんなとき金融的な支援ができるかどうか、岩倉市民と税金との絡みの中で合意が取れば、少しは役立っていく具体的な実行力になるかと思う。

自民ク：岩倉の地価の高騰で、対価を求められてもなかなか合意に達しないというものをどう考えていくのか。そこに難しさがある。クリアすれば、岩倉市内で移転ができると思う。岩倉市外へ行かない方法をとっていかなければいけないと思うし、雇用が安定すれば、人口増加策に繋がるという考えは持っている。

公明党：野寄、川井地区へ準工業団地として集約をした方が良いのではないかと思う。今はエコキュートの室外機で近隣と問題を起こす。クーラーの室外機でも問題を起こす。岩倉の場合、トマトやさんが土地が高いということで、温室を江南へ移した例もある。行政側がもう少し丁寧に、長期にわたって考えていくことが必要。市議会の中にも、土地についても詳しい人がいるので知恵を使って、工業団地も誘致していかなければならない。岩倉市は流通倉庫が多く、雇用が直接的には結びつかない。生産過程のある工業誘致ができればと思う。行政の中に真剣に考えていく部署があるべきだと思う。一宮、小牧ICに近い、流通だけでなく、工業団地としても立地の良さを強調していきたいと思う。

## ② 商店街の活性化

創政会：昭和の時代の商店街の面影がなくなりつつある。ご指摘のとおり商店街は

駐車場とマンションの街になっている。こうした中であっても、岩倉駅東西の地域は、商店街として機能している。特に、市の中心部である下本町地区は商業地域としての性格を持つ街と認識している。

今後の下本町地区の商業機能を強めていく一つのきっかけは、桜通線及び江南岩倉の整備促進であると考えている。特に、市が整備する桜通線は、25年度は26年度からの用地買収に向けた土地評価及び物件調査業務を行い、都市計画事業認可を得る予定である。当面は岩倉駅東駅前広場から岩倉街道までの延長150mを第1期工区として整備する予定である。地元の駅東地区再生協議会と連動して、岩倉駅前にふさわしい商業機能を持つまちづくりが進められることを期待している。また、県が整備する江南岩倉線についても、桜通線と同時期に整備促進されることが最も望ましいので、高桑県議会議員と協力して、県に働きかけていきたい。

都市としてのインフラの整備を進めつつ、商業機能の強化、商店街の活性化を図るために、片岡市長の公約である「信頼に応える100策」を積極的に推進する考えである。

共産党：小さい商店街がなくなって淋しいという声は高齢者から聞く。国の政策で大店舗法で、大型店をつくり、小さな店舗がなくなってきたと思っている。薬屋、本屋、酒屋、米屋などは、規制緩和でお店がなくなっているということで、障害者や高齢者から街の身近なお店が欲しいという要望を聞く。商工振興条例を市できちんと作っていくことや、住宅リフォーム助成制度、街コン、小規模事業者登録制度も議会の度に提案してきた。小さい商店が生き残れるような施策を提案してきたが、活性化には繋がっていない状況である。やはり宣忠体制もおいて、まちづくりを位置づけて、商店街活性化に真剣に取り組むことが必要と思う。

市民ク：商店街活性化については全国いろんなところを見ても、かつては良かったかもしれないが、どちらかというとは今は、小型店が多いところでシャッター街で、復建ということかと思う。今ある商店街をどうしていくのか、全く別のところに作るのであれば、それなりの企画があるかと思うが、今あるところをどうしていくかが岩倉の課題であると考えている。そのためには、岩倉市のニーズをしっかりと把握して、それを含めて考える。行政、議会を含めて、商店街の役割、小売業の役割をしっかりと住民に訴えていくのも一つと思う。そのためには、商店街は地域の公共財産として、治安も平和もあるいはいろんな意味でも守られているコミュニティの場である。高齢者の問題で、買物難民が出てきたときの対応や、IT化をどのように利用していくかがポイントになるのではないかと思う。基本的に商店街はおもてなしの精神を持っていると思う。その心を住民に訴えていくことが大切と思う。予算的には、商工費で1億8千万円ぐらいあるが、融資関係がほ

とんどで1億6千万円、商工振興は約1割で1,500万円。それは、商工振興にかぎられた補助、交付金になっている。岩倉市が経営的な自治体経営をしていくなれば、住んでいる人たちのサービスを経営的に考え、何に幸せを求め、どう将来に対して発展していくかという方向で、気持ちを一致させていけば良いと思う。金融支援でお金が足りなければ、増額補正をしていけば良いと思うが、それだけでは難しい。商店街は地域の公共財産という位置づけで予算をとって、具体的に何をというところまでいかないが、位置づけだけでも、小売業の役割を皆様と考えていけたら良いと思う。

自民ク：過去には、多数の小売店があったが、全国的にも衰退の一途である。行政の助成は、ほとんど融資関係しかやっていないに等しいと思っている。この街で商売をやりたいという方をいかに求めるかが活性化に繋がる。予算はできるだけとってやっていきたいと思うが、難しい部分もある。駅前の店街のシャッター通りについて先に発言があったが、桜通線の開発がどのように街を変えていくかと考えているので努めていきたい。

公明党：一番難しい問題である。研修、勉強などで活性化している商店街の話も聞きますが、浮き沈みがそれぞれあり、長期的な見方をする必要がある。行政側とのタイアップがしっかりできて、長期的なプランができた上で、商店街の活性化はできていくのかなと思う。これからも勉強して、行政側にもいろんな形で提案していきたい。全国の成功例として、5年、10年と続いているところもある。なるべく同規模の自治体の商店街をこれからも勉強していく。

### ③ 名鉄駅前ビルの動向

宮川議員：7月16日に事務機能など移転した。駅ビルを閉鎖することができる状況になる。耐震の関係もありビルを解体することは決まっているが、その後何をつくるかは決まっていないこともあり、いつ解体するかも決まっていない。市からレスキュー訓練をしたいという要望があり、名鉄側がOKをだしていることは聞いている。昨年9月議会終了後、総務部長、建設部長、担当の3課長を連れて、名鉄に出向いている。その際は顔合わせという意味が大きく、お互い連絡を取り合うことを確認した。名鉄としては、年間設備投資は200-300億円である。2025年にリニアがくる。その時までには、名鉄百貨店、メルサ、レジャックを全部作り直す。それだけで、通常の資本投資プラス500-800億円かかる。なおかつ7000億円の有利子負債があるので、岩倉の駅前にお金を投資することは、具体的にお互いにメリットがないと難しい。お互いにメリットがあれば、投資はできるので、意見が出し合える環境をつくってきたい。北街区の完成後、残りの4街区が進んでいないのが現状。岩倉

市としても、市議会としても、統一的な意見がなされていない状況でもある。今後必要であれば、特別委員会など作り、具体的な課題に関して、政策を作り上げていくことが必要であると思っている。

#### ④ 駅前に交番が必要と思うかどうか

創政会：安心・安全のまちづくりの推進はもっとも重要な政策である。本年1月から5月までの岩倉市内の犯罪の発生件数を、幹部交番所長から聞きましたので紹介すると、刑法犯発生件数では237件で、前年対比-52件、18%の減、窃盗犯発生件数では185件、前年対比-36件、-16.3%と減少はしているものの、6月28日には東町で自転車で帰宅中の女性がバッグを奪われケガをするという事件がありました。安心・安全で暮らすことができるまちづくりは市民共通の願いである。

かつて北街区再開発において、再開発ビル内に交番を設ける方向で検討されたが、県警の要件（事務室、パトカー2台分のスペース）を満たすことができず、断念し、その後、中央町1丁目の岩倉駅西線沿いに幹部交番が移転されたという経過がある。

犯罪のない、安心・安全のまちづくりを推進するためには、岩倉駅東駅前広場周辺に、交番は必要と考えるが、地元主体で防犯活動を進めている自治体がある。茨城県土浦市では市民及び駅利用者の安全を確保するとともに、犯罪の防止のため、警察官OBが市職員として立ち番・巡回・通学路等での子どもの見守り活動を行う「防犯ステーションまちばん事業」を推進している事例などを参考に調査研究を行い、政策を提案していきたい。

共産党：駅前に交番があれば良いと思う。岩倉団地の交番が廃止され、治安の悪化を団地周辺の住民は心配している。

市民ク：昔から、駅前交番含め議会でも議論されていた。土地の問題、場所の問題で今のところになったかと思う。愛知県においては、交番は中学校区に1つということで岩倉市は2つあっても良いということでできた。それを県議会で無くすという議論があった時に岩倉市議会では情報がなく、県に対して物を申すことができなかった。反省している。単に、今の所に移すか、駅前が良いのかという議論はありました。これからは、治安を含めて、交番行政についても考えていくべきだと思う。

世界に対し日本が一番積極的に訴えて良い文化は交番文化であると思う。いつまでも言い続けていくべきである。何かの時に必要になることもある、中心市街地、駅前に人口が集まってくれば、そういったことも考えられる。議会の中でも、県における警察委員会の動向なり、警察行政の情報をつかみ、愛知県警の要請を把握し、タイミングよく市長を含めてやっていくことが足りなかったことを反省しこのような考え方をしている。

自民ク：駅前交番は必要だと思う。団地の交番が閉鎖されるときに全く聞かされていなかった。駅西に幹部交番ができればよいという問題ではなかった。議会でも問題視しながら、県の要望を飲み込まないと達成できないので、市長から県警に申し入れをしていただき、県議は高桑県議がいるので、要望しながら早期にできるように努力していきたい。

公明党：幹部交番という大きいものより、小さくても見えるところにあることが抑制になると思う。駅前に交番というのは、西側と東側のことと思うが、西にある今の幹部交番を縮小しても良いと思う。東と西で分散する形であれば賛成したい。

⑤ 商品券事業についてどう考えるか。

創政会：一豊商品券など過去何度も商品件事業が行われ、地域経済の循環、活性化などの効果があったものと思われる。商品券事業は、一時的な効果はあるものとするが、単一的な事業としての効果はあっても、継続的な事業としては弱い面があると思う。例えば、毎月実施している軽トラ市と関連付けて行うなど、持続性、波及性、継続性のある商品券事業として期待をしたい。

共産党：以前の成功例もあるので、商品券事業は実施したほうが良いと思う。いろんな人が知恵を出し合って、若い人の様々なアイデアを取り入れるような事業が出来たら良いと思う。

市民ク：いろんな所で商品券は出されている、私も使っている、効果があることは勉強させてもらっている。商品券で街の活性化をするのかイベントなのか、色々な方法の一つと思っている。一番大事なのは、商品券を使って、その街のために、街のお店のPRを含め、お店に行っただけのコミュニケーション、効果を出していくのであれば、名刺のような商品券という価値があると思う。商品券を通じてリピーターが買い物に来てくれるのであるから、2年に1回、3年に1回よりも継続的にやっていく商品券、あるいは専門性のお店に投じたところでやっていくかであるが、お金があれば良いと思う。企画と持ってき方だと思う。商品券を使って、お店のPRとコミュニケーションができる場にしていけるような価値観があれば良いと思う。

自民ク：大型店に使われてしまうことが多く。苦勞されていることは承知している。市内の小売店へのコミュニケーションの一貫としておやりになるのであれば良いと思う。大きなお店に食われてしまうので、その対策を考えていく必要があると思う。飲食店の方に、商品券が使われたといった経過もあるので、

そういった課題を持ってやっていただければ賛同していきたい。

公明党：賛成である。500万円ぐらいであればあまり効果がないのかなと思う。ただ2倍にしてもそれだけの効果ができるかどうかは疑問である。商品券という単品ではなく、付加価値をつけたもの、例えば地域通貨と連動していく。岩倉は地域通貨が1種類で済むような広さと人口だと思う。若い人がもう少し、お知恵を発揮していただければ賛成である。

### 3-2. 意見交換

商工会) 工場用地の確保について、現実問題企業はまったなしである。今いろいろやっ  
てもらっているようであるが、個別に対応してもらいたい。また市域が狭く、  
市街化率が高いことから土地価格が高いのも問題である。工場を誘致するので  
あれば優遇措置を考えて欲しい。

商工会) 市内で廃業される方、マンションを建てる方あるが、それに対して市議会とし  
てどう捉えるかを聞きたい。商店街の活性化について、下本町は桜通線をと  
った話もあったが、具体的にどうするのか？それ以外の所はどうするのか？商  
店街を活性化するには2つの考え方がある。店主の意欲があるかどうかとそ  
れに対する行政側の支援があるかどうか。この2つがないと活性化できないと  
思う。その点についてどのように考えるか？

商工会) 駅前の名鉄について、岩倉駅は岩倉市の顔である。駐車場や更地になってしま  
うのではさみしい。岩倉市のイメージの問題のもなる。岩倉市として恥ずかし  
くないようなものを行政側と相談してもらいたい。そして岩倉の活性化につな  
げてもらいたい。

議員) 農地を持っている方は、この先いつまでできるかという心配や貸すこと売ること  
への抵抗感がある。個別の話し合いも大事だが集約してどう活かすかも考えてい  
きたい。お地元の方の意向を聞きながら、またお地元の方が動かなければ進まな  
い。行政が引っ張っていてもそれだけでは、あるところでダメになる。行政だけ  
でなく、議員集団も地元に入り、地元の考えを聞きながら、その街をどうしてい  
くか丁寧な進め方が必要。企業は3年しかまってくれない。言われることはわか  
るが拙速もいけない。議員は丁寧に橋をかける役割を担う。真剣にお地元の人  
が考えることが重要。商店街も同じと思う。想いがあり下本町と言ったが、他の地  
区も同じと思う。後継者がいない。商売をやめたら地域の方が困るといった悩ま  
しい気持ちでされている方もいると思う。消費者の動向としては、安いところ、  
買いやすいところ、利便性のあるところにある。商店街には、大地震がいつくる  
かもしれない時代に、コミュニケーションをもちながら、付加価値を持ちながら、  
商店の方はいつも地域にいることから、地域の享受の拠点となる価値を持つとい  
うことが求められるのではないかと考える。

議員) 名鉄のビルの跡地については、更地にするのはもったいない。古い名鉄電車を並  
べて、鉄道マニアの方に来てもらう、来てくれた方に商店街として目を向けても  
らい振興につながるようなまちづくりができないものかという話はしていた。

商工会) 岩倉駅周辺の交通規制に対して、市議会で考えたことはあるか？現実とかけ離



れていると思う。駅から放射線状に規制がかかっている、外から入って来れない。客を寄せるという配慮がなされていない。この規制がなければ生き残った商店はあったのではないかと考える。

商工会) 区画整理をやった時代と現在では、違ってきていると思う。市街化区域内の高さ制限を見直す必要があるのではないかと？

商工会) 小泉内閣の規制撤廃において、岩倉市内のお店も廃業に陥ったと思う。

商工会) 交番をいくらつくっても犯罪はなくならないと思う。地域の防犯体制の確立の方が犯罪抑止につながると思う。

商工会) 駅前の交番について皆様の意見を聞くと賛成のようであるが、なぜできないのか不思議である。みんながわかりやすいところに交番があることが一番大事。土地がないということであるが、西口に公園があり、その一部を潰して交番になぜできないのか？駅は市の顔ですので、ぜひとも交番を造る方向で取り組んで欲しい。

議員) 交番について、西側ロータリーは、前市長が建設部長時代に作っていた。昭和 50 年代に作ったロータリーが今の時代に合っているのかということもあり、現在、建設部と考えながら進んでいる。現在の幹部交番が出来て日が浅いこともあり、駅西ロータリーにいつ移転できるかということはまだお答えできない。設計上、駅西ロータリーに入れ込むか、別の所にするのかは長期視野に立って進めていかなければいけない課題と思っている。当面は、駅東地区に、名鉄ビルがなくなることも含めてしっかりと提案できるようにしていきたいと考えている。

商工会) 日進市の職員が、福島県川俣町の現状を報告していた。職員が、地域の現状を市民対して話す機会を設けているということを知ってもらいたい。  
日本一住みたい町が長久手市で岩倉と同じぐらいの人口である。病院医師が 88 人、歯科医師が 44 人で日本一若い人に住んでもらいたいまちである。職員の意識改革を行っているからそれが参考になる。交流をもってもらいたい。(大井さんに話を聞いたと市議会にいつてもらってもよい。) 人口 5 万人前後のまちでも日本一住みたいまちがあることを参考に知ってもらいたい。

商工会) 佐賀県武雄市の図書館の例で、ツタヤに一括開発を依頼したところ、年間 60 万

の利用者が3ヶ月間で830万人が利用したという事例がある。これを参考に岩倉市の図書館についても市外の人も行ってみたい図書館にしてもらいたい。人口増加にも繋がるのではないか。簡単にできるのではないか。東町にトウハンというロジステックがあり、常に65万冊の本があるので連携してはどうか(県の図書館でも200万冊あるかどうかである)。豊田市の図書館は2000人の来場者が自由に駐車できる特殊な構造である。新たに作らなくても、あるものを少し変化させて、どこを見ても岩倉市楽しいなとなるように変えてもらいたい。

商工会) 駅東の開発がある、名鉄のビルも壊されるということですが、岩倉駅は特急も停るしかし柏森駅の方が良いと聞く。桜まつりに来たお客にもこんな小さな駅かと言われぬように名古屋駅に勝るような駅を作りたい。

商工会) 川井・野寄地区において市がバラバラの土地を購入したと聞いた。全く役に立たない土地を岩倉の予算で1億ぐらい、県の予算で2億ぐらいの計3億円で購入された。バラバラの土地を購入したことに対し、市議会はどのように行政と戦っているのか知りたい。集約した方がよいという意見もある中で、バラバラの土地購入は理解できなかったので教えて欲しい。

議員) 野寄の土地について、相続される方がいないため、そのままにしておくという状況がある中で、農地として使える、使えないはあるが、市としてひとまとめにして購入したいとなった。農地法の関係や長期間放置されてたこともあり、すぐには農地として使えない状況でもあった。行政からは、子供たちの農園、地産地消、人を寄せるような菜の花畑の景観づくりなど、将来的な夢のある説明があった。そういった将来的に夢のある話を反対して潰してしまうのは惜しいと考え賛成した。昨年、保育園の園児が耕作物を作っていたり、来年に向けては、菜の花畑やひまわり畑などをつくり、人が岩倉に来てもらえればということにもなっている。

商工会) 商店街の発展を考え、商品券事業をやってきたが、去年は少ない予算の中、抽選券事業を行った。商品券事業は市の予算500万円ほどと、商工会の予算250円ほどを頂いたが一部の人、大手にしか買い回りが進まなかった。また一部の人にしか商品券が行き渡らなかったという意見があった。市長よりもっと斬新な意見はないか問われた。抽選券事業はピアゴ、ナフコなど大店舗を抜いた非常に幅広い範囲で、150万円という少ない予算の中で行った。1年で終わって

いものかという気持ちもある。商品券事業だけでなく、抽選券事業についても議会に意見を聞きたい。

商工会) 商品券事業にタイアップをしたらどうかということで軽トラ市が出てきたが、議員は軽トラ市のコンセプトをどこまで理解しているのか知りたい。その上で商品券事業とタイアップしたらいいのか、どのようにタイアップしていったらいいのか、どんな考えでいるのか知りたい。会議のメンバーもコミュニケーションを取りながら一生懸命取り組んでいる。月 1 回の会議でも、細かい点、いろんな改善点が出てくる。議員はどこまで理解して先ほどの意見を述べられているのかお聞きしたい。

議員) 軽トラ市について、実行委員の皆様、行政は商工農政課の職員と協働で一生懸命取り組んでおられると感じています。コンセプトについて、先ずはこの軽トラ市自体が盛り上がり、市民の交流の場、賑わいの場、楽しみの場となればと理解している。そして市外からも人が来てもらえるようなものになり、流入人口の増加、岩倉市の魅力の一つになっていくこと。更には、軽トラ市だけではなく、同時にその周辺のお店にも影響があるようなものに、周辺地域も一体となって盛り上がると良いと思う。今、中心市街地により近い所で開催をされていますが、軽トラ市会場とその周辺にも影響を与えるようなものになるとよいと考えている。商品券事業とのタイアップについては、軽トラ市実行委員会も人手不足の状況で商工会の方にも積極的に関わってもらえるともっと盛り上がるのではないかと考えている。例えば、出店料を 1 区画 2,000 円となっているが、そのうち 1,000 円を市内だけで使える商品券として出店者に返してはどうか。そういったことで、商工会の方も関わりやすくなるのではないかと思う。いろんなアイデアを出しながら工夫をしながらタイアップができるとよいのではないかと考えている。

商工会) 5 点の質問テーマを設けたが、会派等の意見ではなく、岩倉がどういう方向に進んでいくのか聞きたかった？商店が廃業していく、工業系会社の周りに住宅も建ってくる。会員は、夢をもって商売をしているが、この先良くなる、こんなふうになるなど何か提供してもらえるものはないか？

図書館の話もあったが、一宮駅も新しくビルができ図書館がある。毎日 3,800 人の利用者がある。街の活性化につながっている。岩倉も人口増加に繋げるにはどうしたらよいものか？

集客をするには名鉄ともっと繋がりを持っていただき、企業は利益を追求するもので、駐車場でも小牧、春日井の玄関口として名鉄としては良いかもしれないが、小規模事業者にとって何か良い影響のものがないものか。

北街区は整備されたが、住宅が入っている。路線価も道路に面している所より中に入ったところの方が高い。道路を広くしても意味がない。名鉄は単独で事業をされると思うが、そこへ行政が入ってほしい。できればいろんな箱物、若者が来るようなものをつくってもらい、その代わり固定資産税を10年でも15年でも無料にするとか、岩倉の展望、人口増加に対する施策をどのように考えているか、また持っているか、行政としてどんなビジョンをもっているかお聞きしたい。

議員) バブル期などお金があった時代は、議員としていかに地元を利益誘導するという動きがあった。今は、限られた予算をどのように割り振るのか、将来に向けてどう投資するのかというのは、議会全体の意思で決まっていかなければならないということもあり、議員力をあげるというより、議会力をあげるというのが、こういった意見交換をさせてもらっている主旨でもあり、議会改革の本来の主旨でもある。

議会としての意見をしっかり持って、市長に提案することはしていく。議員はそれぞれの立場、役割をもって取り組んでいく。商工会長の言われたことは大きな課題ですすぐにはお答えできないと思うが、これからもこうした意見交換しながら、随時、個別になってもご意見を頂きながら、それで市政に反映することも可能なので、商工会と議会との距離をつめていきたいと考えている。

余談ではあるが、知多半島の3分の2ほどの土地を持っている名鉄不動産に八木部長のお知り合いがいる。引き継ぎもしながらこれからのパイプづくりをしていかなければならないと思っている。

商工会) 軽トラ市について、3年ほどおよそ月に1回やっていると思う。八剣憩いの広場でやりたい声がある中で、神明ふれあい広場にこだわっていることや、市の中心で行うことの意義がわかってきた。議員はこれまで軽トラ市に何回ぐらい足を運ばれたか知りたい。

議員) ほぼ毎回、20～10回、10～5回、5回未満までに分け、各議員挙手にて回答する。

#### 4. 締めめの挨拶（井上副議長）